



美麻の宝再発見!

中学生が学習成果を地域に報告

地域づくり会議、美麻小中学校、長野大学が協働で行った「学社融合プロジェクト“美麻の宝再発見”」の学習成果の発表が、小中学校の「梨の木祭」と美麻地区文化祭で行われました。両日とも、大勢の地域の皆さんに参加いただきました。

再発見された地域の宝には、中学生ならではの視点で、屋号、景色、アイターンなどが取り上げられており、今後の地域づくり活動に活用できるものが数多くありました。

(詳しくは、4ページをご覧ください。)



学校梨の木祭での発表の様子

大改修!!
劇的
ビフォーアフター

国指定重要文化財

旧中村家住宅が平成の大改修



アフター



ビフォー

入館料 大人300円 子供150円(小学生未満無料)
開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)
休館日 月、火曜日 12月~3月は冬期休館
お問い合わせ
旧中村家住宅管理事務所 TEL: 0261-29-2580

青具にある国の重要文化財旧中村家住宅の改修工事が行われました。現在は冬期休館中ですが、春の開館時には、ぜひ足を運んでみてください。江戸時代にタイムスリップしたかと思えるほど建築当時の佇まいに復元されています。

今回、改修工事を行った大町市文化財センターの島田所長に改修工事についてのお話を伺いました。

 旧中村家住宅では、平成24年3月より12月まで、大切な文化財を未来に残していくための保存修理工事を実施しました。

旧中村家住宅は、建てた年代のわかる民家としては県内最古で、古い部類に入ることから国重要文化財に指定されています。

今回の保存修理工事は、重要文化財指定前、平成8年の保存修理工事以来、15年ぶり2回

目ですが、土蔵の解体修理と茅葺のと主屋の茅葺屋根のが主な修理内容で、修理方法・材料はともに当時のままで修理されました。



このように国民共有の財産である文化財を保存修理して残していくことは、この地域の伝統技術を知るうえにおいて重要な役目を果たしていきます。(大町市文化財センター)

美麻地区連合自治会が陳情

美麻地区連合自治会では、地域課題の解決のため、行政からの支援や協力が必要な事項について、大町市への陳情を行っています。

平成23年度は、11月14日（水）正副自治会長が市役所に牛越市長を訪ね、各自治会から提出された計24項目について陳情しました。

今回の陳情内容は次のとおりです。



- ・支所機能の充実・小中学校の存続・保育園の存続・福祉企業センター建替えに伴う整備
- ・簡易水道統合及び老朽水道管敷設替えの促進・地域高規格道路の整備促進
- ・三日町北交差点整備・公共用地の分筆について・有害鳥獣対策の体制について
- ・教員住宅の有効利用について・ぽかぽかランドのリニューアルについて
- ・光ケーブル通信網の充実について・市道道路改良、修繕・道路安全対策・ため池整備

被災地の1日も早い復興を！

美麻小中学校では、今年も児童会、生徒会が中心となって、文化祭等学校行事の祭に震災で被災された方々への募金を行いました。

12月21日に美麻支所を訪れた児童、生徒の代表より、集まった33,854円の義援金が手渡されました。

義援金は、日本赤十字社を通じて被災地復興のために役立てられます。



美麻Wiki スマホに対応！

最近のスマートフォンの普及にあわせて、ホームページ（美麻Wiki）をスマートフォンでも見やすくしましたのでご覧ください。アドレスは同じです。

<http://miasa.info/>

ツイッターも使えます

あなたのつぶやきで美麻で活性化に協力ください。つぶやきの最後に、#miasaをつけると美麻Wikiに表示されます。

学社融合プロジェクト2013

協働事業を振り返って

昨年度から始まった美麻小中学校との学社融合協働事業、本年度は、中学生対象にきっかけ作り授業や美麻Wikiの使い方、長野大学の禹先生や池田先生の指導とともに、地域づくり会議の有志による授業での指導、調査への協力など行ない、小学生対象の授業も行ないました。自治会を通じてアンケート調査にも美麻地域全域で多くの方にご協力いただきました。その成果を生徒たちは、学校での梨の木祭、美麻地区文化祭などで発表し、お聞きになった方も大勢いらっしゃると思います。これらを地域づくり会議でも今後有効に利用させていただくべく検討しています。

先日学校と長野大学の2先生、地域づくり会議役員で反省会を行ない、来年度へ向けた課題なども話あいました。今後地域を担う生徒たちの成長のため、魅力ある学校づくりひいては地域の今後のために継続し、

さらに内容を充実したいと話し合いました。いろいろご協力いただきました地域の皆さんありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



盛り上がった梨の木祭



10月19・20日に美麻小中学校で梨の木祭が行われました。

小学校1年生から中学校3年生まで一緒に行う文化祭は、小中一貫校ならではの特色ある教育プログラムとなっています。

7月から保健・給食委員会でステージバックを作りました。絵は宮田あかりさんが考えた、太陽がにっこりしている作品です。みんなが楽しく笑顔で過ごせるように願いを込めて作りました。試しに絵をライトアップした時に一部が光らず、先生のTシャツを切って貼らせてもらったりと大変なこともありました。でも協力して梨の木祭を盛り上げられるものができて良かったです。（9年保科香菜子）



平成24年度美麻地区文化祭

地域文化継承 と後継者育成

文化祭の恒例行事となっているインターネットテレビの生放送は、中学生が中心に行いました。100人以上の地域の方から参加いただきました。



地区の文化祭は、美麻の公民館活動、地域づくり活動、すべての年代が一同に会し、互いの文化と情報を交換する社交の場となっています。

昨年からは学校の单元として中学生も運営に携わるようになり、従来の活動発表の場から、地域の文化を次代につなげる場となりつつあります。参加した皆さんの声を聞いてみましょう。

公開収録を終えて



とても楽しかったです。私はよくナレーターやMCをやっているからあんまり緊張はしませんでした。焼きそばもおいしかったです。それに私はカメラの前で話

すことが好きなのでMCもいいなあと思っています。MCはとても楽しいし原稿を読むことや話すことも好きなのでとても良い体験ができたと思っています。またこのような機会があったらMCやナレーターなどの仕事をやらせてもらいます。ありがとうございました。

(7年 稲垣未来)

地区文化祭に参加して

地区文化祭は長年美麻で行われていましたが、昨年からの日を登校日として中学生全員で出るようになりました。そのため地域とのつながりが深まったように感じます。

焼きそばなどを売ることによって地域の人と身近に接することができました。文化祭で発表した総

合発表を文化祭でも発表することにより、地域の人たちに自分たちの活動をより知ってもらうことができました。美麻がこれからも盛り上がっていくように、ずっと中学生全員で参加できればいいです。

(8年 宮田翔平)

出店を担当して

美麻小中学校では、美麻地区文化祭へ生徒会との共同模擬店を出店させていただきました。

生徒は梨の木祭から続く発表会練習に明け暮れる日々でもあり、準備はPTAにより進めました。当日は発表の合間で、焼きそばの焼き・詰め・販売(訪問販売まで!)と生徒が積極的に関わり、またドーナツは袋詰めをリレー作業で連携良くおこない、どちらも好評の内に完売となりました。片付けには冷水で洗い物まで、彼等の将来を心強く感じました。

(PTA総務委員会委員長 間藤一与志)





開市5年目を迎えて

美麻市

四月の第一日曜日から開催！遊びに来てね

平成24年度的美麻市を無事終了することが出来ました有難うございました。美麻地域づくり会議の応援もいただき幅広く交流が出来たのではと自負しております。また、当地区外の皆様にも大変な応援をいただきました有難うございました。今年度的美麻市は、何と無く雨に悩まされる日が多かった様に思いました。

美麻市は、平成20年に「美し村(うましさと)開拓団入植プロジェクト」と題した農林水産省の地域活性化モデル事業の第1項目に美麻市の設立、開催を掲げ発足いたしました。しかし、国の事業仕分で1年分の補助金のみしかいただけませんでした。26回目となる事業を達成出来ました。

今、手元に発足当時のパンフレットがあるのですが、発足当時は本当に出来るか不安を隠せませんでした。しかし、回を重ねる事により遅ればせながら進行しているのではないかと感じています。

美麻市だけではなく他の計画も進行過

程にあるのではないかと思います。

古くなった冊子かと思いますが、もう1度開いて見てはいかがでしょうか。

次回の美麻市は平成25年4月第1日曜日を予定しております。みんなで大町市美麻を元気にしていこうではありませんか。(美麻市長 合津富吉)



美麻地区の活性化計画としてまとめられた美し村開拓団入植促進プロジェクトは、美麻地区の地域課題解決に必要な5つの目標(交流人口の増加、伝統文化の継承、定住人口の増加、地域産業の振興、農村風景農地の再生)を柱に策定されました。

いずれも地域づくり会議の活動として継続して取り組んでいます。



「美麻市への参加ありがとうございました」 (平成24年の美麻市あれこれ)



4月1日(第18回)

まだ雪の残る中、源流美麻太鼓の演奏でスタートしました。



5月6日(第19回)

美麻小学校6年生が、図書館への寄付のためにシイタケの販売に参加。



9月2日(第23回)

科学工作教室で、楽しみました。



11月25日(第26回)

1年の締めくくりは、恒例のしめ縄作りです。



10月7日(第24回)

松崎和紙さんのご協力により「麻入り和紙の紙すき体験」が開催されその中で昨年に引き続き保育園の卒園証書づくりを行い参加した園児が1枚1枚丹念に作りました。

紙すき和紙で作成される卒園証書の完成が今から楽しみです。関係された皆さんありがとうございました。

地域の食育始まる

ジビエ工房 + 小中学校 = 食育 × 地産地消

「いただきまーす。」と元気な声がランチルームに響きます。12月12日の美麻小中学校の給食メニューは子ども達の大好きなカレーです。

でも、この日のカレーは一味違いました。使われているお肉は、地元で獲れた日本鹿の肉。

昨年、湯の海に中信地区初の野生鳥獣の処理加工施設「美麻ジビエ工房」をつくった美麻ジビエ振興会の皆さんが、地域の子どもたちに自然の恵み、命の大切さを知ってもらおうと学校に提

案して、ジビエ給食が実現されました。

当日は、新聞やテレビの取材も多くありとてもにぎやかな給食となりました。

ジビエ給食の実現には、市教育委員会のご理解に加え、給食の先生も普段の何倍も手間をかけて調理されたとのこと。関係された皆様に改めて感謝申し上げます。

シカはうまい。

マタギは山の神様に失礼じゃないようにけものにおいをつけててすごい。シカとかのワナはすごくしっかりできててすごいと思った。イノシシやシカをもっと給食に出しておいしく食べていきたいと思う。(小6 保科貴太)



きょう給食でジビエカレーが出ました。ジビエカレーに入っていたシカ肉は、グニョツとしていたけれどとてもおいしくて、あと2~3ばいくらい食べられそうでした。(小2 巻田陽也)



.....この日の様子は、新聞などでも紹介されました。.....



信濃毎日新聞

朝日新聞



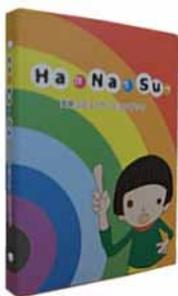
地域コミュニケーションブックを更新しました。

コミュニケーションブックの内容を更新しました。すでに地区長さんを通じて各戸配布されていると思いますので、中身の差替えをお願いします。

掲載情報は、自分がお知らせしても良い情報として提供いただいたのみです。

不足があれば、個々に書き足して使いましょう。

自治会に加入しませんか



コミュニケーションブックは、隣近所や会員相互の交流促進を目的に、美麻地域づくり会議が作成・更新しています。災害時の避難場所や各戸の屋号など生活に役立つ情報も掲載。自治会加入世帯に配布させていただきます。

ふるさと美麻会が開催

今年で21回目となる第21回ふるさと美麻会が11月17日(土)に東京上野「水月ホテル鵜外荘」で開催されました。

当日は、美麻地区から10名、会員25名が出席しました。

冒頭、信濃の国の合唱で始まり、事業報告、決算報告、会則改正、新役員等が上程され、原案どおり議決されました。

今後は会員数の減少防止や新規会員の掘り起こしが課題となっています。



ふたえ市民農園管理棟 営業時間変更のお知らせ

3月15日まで、営業時間が変更となります。

管理棟営業時間
午前10時から午後7時まで

入浴の受付
午後3時から午後6時30分まで
隔週木曜日は休館になります。

ご迷惑をおかけしますがよろしく申し上げます。

ぽかぽかランド指定管理者決定

美麻市などでお世話になっているぽかぽかランド美麻の指定管理者が決定しました。

新年おけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

本年も引き続きご愛顧の程、宜しくおねがいします。

ご存じの方も多かと思いますがぽかぽかランド美麻は指定管理で大町市中原町にあるF & Aカンパニーと言う指定管理施設運営を定款の一番目にあげた会社が管理・運営・経営をしています。

今年3月末で終了しますが、昨年12月の審査会議会にて引き続き行う事(今回は5年間)になりました。

地元美麻をはじめ大町市のご支援ご協力があったはじめて3年間行う事が出来たと思います。

初心を忘れる事なく地元の皆さまに愛され、また、ご指導をいただき大町市の東の玄関口として恥じることなく従業員一同、晴耕雨読の日々にて進む所存です。宜しく申し上げます。

ぽかぽかランド美麻
指定管理者 F & Aカンパニー

編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info